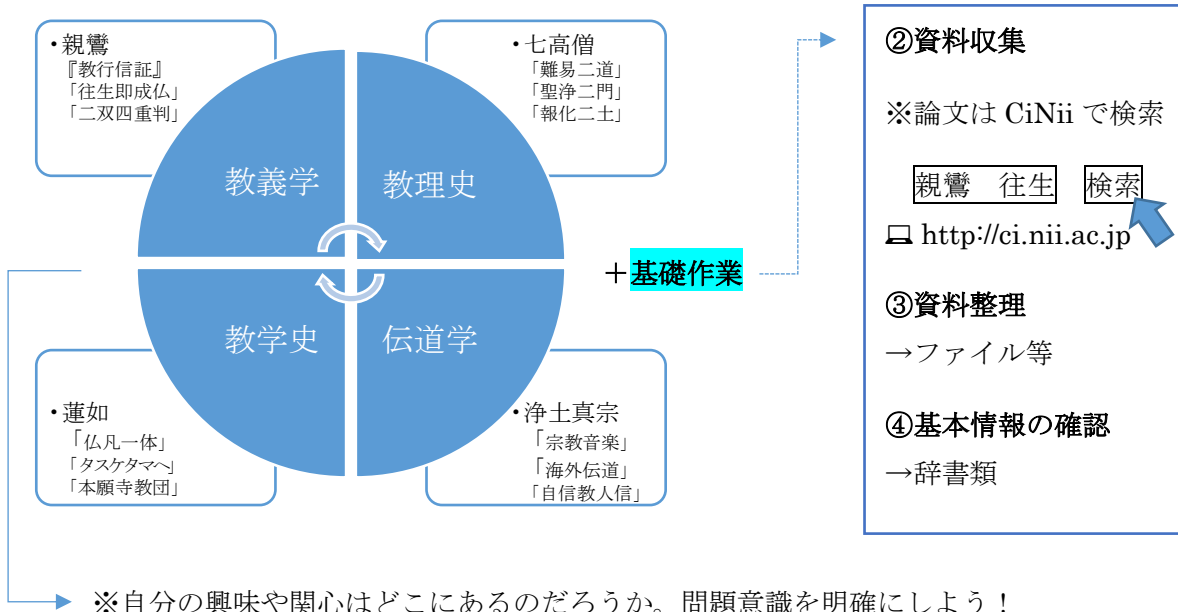


## 卒論完成への道

### —卒業論文体験談—

#### ◇6月/テーマ・仮題目の決定

##### ①キーワードを探す！



#### ◇7月—8月/概要調査の継続

##### I. 研究の全体的方向性を導く

- テーマを絞り込み、リサーチクエスションをつくる。
- 自分の立ち位置やオリジナリティを模索していく！
- 可能なら、オリジナル調査（独自のデータ収集と分析）。

##### II. アウトラインを作成する！

[論文全体および章ごとの構成案、章立て案を試作]

- リサーチクエスションに沿って議論を進めるのに必要なパーツ（章・節）を組む。
- 調査の結果や問題意識の変化に基づき、アウトラインの構成を適宜改訂。

##### III. メモを文章化にしていく！

[断片的な文章のかたちにしてみる]

全体の構成（章立て）を考える。

同時に、メモやアウトラインをもとに、書きやすいパーツから文章化！

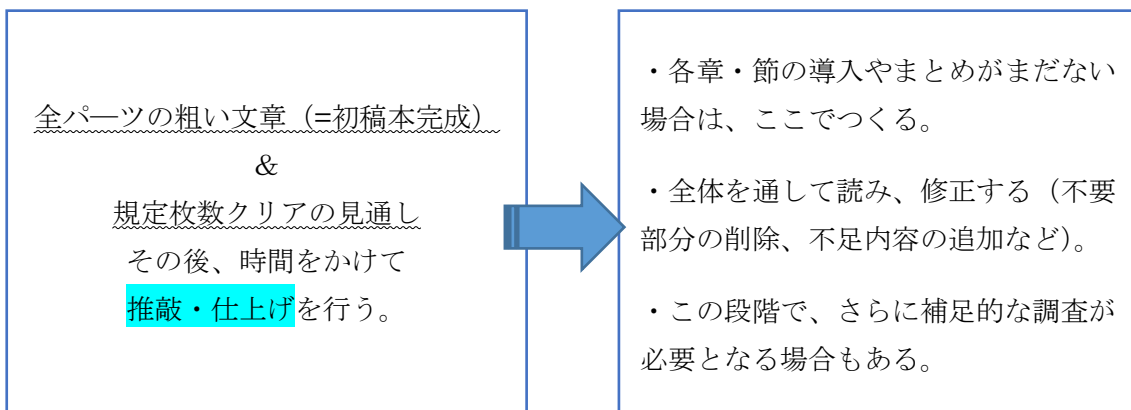
- 構成は、論文完成まで微修正をし続ける。
- 調べながら書く、書きながら調べる！（この作業が論文完成まで続く）
- 文章は断片でOK。途中で抜けたり、箇条書き風だったりでもよい。

・全体の章立て  
・各章・各節の要点  
・資料の引用元情報

### ◇ 9月—10月／卒論本題目提出 (※正式には10月上旬)

- ・論文の全体が文章化されるに従い、結論で書きたい内容が見えてくる。
- メインタイトルが決まる＝問題提起から結論に至る議論の流れが確定！

### ◇11月—12月／初稿完成



### ◇1月／本文の完成稿ができる！

- ・「卒論提出」
- 最終チェックと形式整備（図表、誤字・脱字のチェック、目次と本文の照合、製本など）。

### ◇2月／口頭試問・正誤表の作成

- ・自分の論文を端的に説明ができるようにする。
- 序論（問題提起）と結論を中心に全体の流れを把握しておく。
- ・「正誤表」
- 誤字・脱字などがあれば作成して、口述試問の際に指導担当教員（主審・副審）に提出！

### ◇その他

< 卒論の書式 >

※卒論の書式については、『卒業論文作成マニュアル』の指示を熟読して厳守すること。

→そこに書いてある条件を満たさない場合は、審査対象から外されることがある。

< バックアップ >

- ・文章は書きながらまめに保存する！

→USB、クラウド（Gmail）など、保存媒体は複数準備すること。

### 【アドバイス】

4回生になると、卒論の本格的執筆が始まります。卒業研究を仕上げることは、ゼミ、そして大学生活の集大成です。長い文章を書くことははじめてで、頭を抱えてしまうこともあるでしょう。悩んだときには教員や友人に助言を求めながら、着実に作業を進めましょう。